

# 工事内容確認チェックシート(竣工)(耐震性)在来木造用

竣工現場検査時

現場検査申請書付表1-2-1

一戸建て等(一般用)  
フラット35S  
在来木造用

## 工事内容確認チェックシート(竣工)(耐震性(免震建築物以外))

私は、竣工現場検査の申請にあたり、以下の基準について適合していることを確認しました。

申請物件は、住宅品質確保法第3条第1項の規定に基づく評価方法基準の第5の1-1に定める耐震等級の等級

(※ フラット35S(優良な住宅基準(耐震性))は等級2又は3、フラット35S(特に優良な住宅基準(耐震性))は等級3の基準に適合する必要があります。)

2 (※)に該当しています。

基準の概要	確認項目	確認内容	現場確認欄	備考
評価方法基準の第5の1-1(特に優良な住宅基準)の場合(構造躯体の倒壊等防止)の等級2又は3	部材の品質	部材について、構造耐力上の欠点がないこと	<input checked="" type="checkbox"/>	
	土台・柱等	柱が所定の小径であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		土台の継手位置が構造耐力上支障ない位置に設けられていること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		アンカーボルトは所定の品質であり、所定の埋込み長さが確保されており、所定の位置に設置されていること	<input checked="" type="checkbox"/>	
	耐力壁(筋かいの場合)	筋かい耐力壁が所定の位置、長さ、種類、断面、方向であること	<input type="checkbox"/>	
	耐力壁(面材の場合)	面材耐力壁が所定の位置、長さ、種類、厚さであること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		釘が所定の種類、留付け間隔であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
	準耐力壁等	準耐力壁が所定の位置、長さ、厚さ、高さであること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		垂れ壁、腰壁が所定の位置、長さ、幅であり、両隣に耐力壁又は準耐力壁があること	<input checked="" type="checkbox"/>	
	火打ち材	釘が所定の種類、留付け間隔であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		火打ち材が所定の位置、種類、寸法、留付け状態であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
	床組等	火打ち材と取り合う梁は所定のはりせい寸法であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		面材が所定の種類、厚さであること	<input checked="" type="checkbox"/>	
	屋根	根太が所定の寸法、間隔、取付工法であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		釘が所定の種類、留付け間隔であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		所定の勾配であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
	接合部	面材が所定の種類、厚さであること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		釘が所定の種類、留付け間隔であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		接合金物は所定の品質であること	<input checked="" type="checkbox"/>	
		筋かい端部の接合部が所定の接合方法により施工されていること	<input checked="" type="checkbox"/>	
横架材	柱脚・柱頭の接合部が所定の接合方法により施工されていること	<input checked="" type="checkbox"/>		
	床、屋根の接合部が所定の接合金物により施工されていること	<input checked="" type="checkbox"/>		
	胴差と通し柱の接合部が所定の接合方法により施工されていること	<input checked="" type="checkbox"/>		
	床梁・小屋梁が所定の断面、間隔であること	<input checked="" type="checkbox"/>		
基礎	胴差・根太・たる木が所定の断面、間隔であること	<input checked="" type="checkbox"/>		
	基礎が所定の配置であること	<input checked="" type="checkbox"/>		
	所定の寸法の根入れ深さであること	<input checked="" type="checkbox"/>		
	立上がり部分の高さ、厚さ、底盤が所定の寸法であること	<input checked="" type="checkbox"/>		
	主筋・補強筋が所定の径、位置であること	<input checked="" type="checkbox"/>		
		開口部周辺等の補強が所定の方法であること	<input checked="" type="checkbox"/>	

注1) 申請者、工事監理者又は工事施工者は、太枠で囲われたところをチェック又は記入してください。

注2) 「所定の」とあるのは、設計図書等に記載されている事項を意味しています。

20121001

工法別(在来木造用、2×4工法用、RC造等用)に応じた付表を選択してください。

免震建築物以外である場合に、本シートをご利用ください。

どの等級を満たしているか必ず記入します。  
・【フラット35】S(特に優良な住宅基準)…「3」  
・【フラット35】S(優良な住宅基準)…「2」又は「3」

上下に横架材や枠材のない面材で構成される準耐力壁、垂れ壁・腰壁について、壁の長さ、配置、構成部材の種類、面材の高さ、垂れ壁・腰壁の開口幅や両隣の状況等を確認し、します。

該当する項目全てにすることが必要です。

機構承認住宅(設計登録タイプ)の場合、本工事内容確認チェックシートの提出は不要